



本校教育目標：【自主】自ら進んで学ぶ生徒【寛容】明朗で思いやりのある生徒【挑戦】健康でたくましい生徒
【重点目標】高い目標を持ち、ねばり強く努力する生徒 ～夢の実現～

原町三中だより

平成30年 9月11日(火)
 第6号
 発行責任者
 校長 熊澤 正人
 電話 22-3802

相双地区中体連駅伝 襷をつなぐ三中生

平成30年9月5日(水)相双地区中体連駅伝競走大会が開催されました。今年も襷をつないだ参加選手の声を掲載します。

【3年女子生徒】

今年はサポートとしての参加でしたが、三年間駅伝に関わることができ、とても良い経験になりました。辛いときもありましたが自分を成長させてくれた「駅伝」でした。

【3年女子生徒】

駅伝大会で感じたことは、一本のタスキにかけるチームの団結力や絆、そして声援が大きな力となるということです。

あきらめないと言うことが更に身につきました。より一層三中の団結力が強くなり「三中っていいな」と改めて感じました。

【3年女子生徒】

駅伝大会では弱い自分自身に克つことができたと思います。

走るのをやめたいと思ったときもありましたが、それを乗り越えて完走できたのがよかったです。

【2年男子生徒】

去年はあまりよい結果ではなかったのですが、今年は成果が出てうれしかったです。

【1年男子生徒】

僕は駅伝大会でいい結果は出せませんでしたが、体力とあきらめない力がついたと思いました。来年も挑戦したいです。

【2年女子生徒】

夏休みからの練習は、とてもきつく大変でした。本番では2kmを一生懸命、最後まであきらめずに走れたのでよかったです。

【1年男子生徒】

1年生から1区をまかされてすごく責任を感じました。また出るときは、今回よりもよい結果を残せるように頑張りたいです。

駅伝練習の成果、苦しさを乗り越えて団結する三中生

今年の夏は猛烈な暑さで過酷な練習となりました。駅伝の選手達は自ら希望して練習に参加した生徒達です。暑さと闘いながら、自分の部活動の練習前に走り込みました。

3年連続駅伝の練習に参加した女子生徒、1年生ながら15校中7位と健闘した生徒、昨年の結果に奮起してリーダーとしてみんなを引っ張った2年の男子生徒など、それぞれの想いをもちながら、三中の襷をつなぎ走りきりました。駅伝大会を経て、生徒たちは来年の更なる奮起を誓っています。こうして三中の駅伝の襷は来年に引き継がれていくことでしょう。苦しさを乗り越えて団結していく三中生の姿に励まされます。



ゴール手前、苦しい坂道を他校の選手と競る三中生